

(学校番号205)

令和6年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【本太中】

①	今年度の課題と授業改善策	
	学習上・指導上の課題	授業改善策【評価方法】
知識・技能	<学習上の課題>基礎的・基本的な知識・技能の習得状況が多様化、二極化している。 <指導上の課題>多様化する生徒の実情に合わせて、指導の個別化し、対応していくことが課題である。	⇒ 「スタディサプリ」や「ドリルパーク」等、自己の学習レベルにあわせた学習に取り組み、基礎基本の充実を取り組む。また、学習履歴を確認し、それぞれの生徒に合ったフィードバックを行う。
思考・判断・表現	<学習上の課題>R5全国学力・学習状況調査国語・算数の「思考・判断・表現」の記述式問題の無解答率が高い。 <指導上の課題>グループ活動が増えた半面、活動に充分参加できていない生徒への指導が課題である。	⇒ 学習の基盤となる資質・能力における言語能力の育成に重点を置き、授業の中で自分の考えを人に伝える活動を毎回の授業の中で実施する。また、考えを伝える活動が不得手な生徒に対して、活動前にそのねらいや方法、考え方等を伝える場を設定する。

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	R6全国学力・学習状況調査において、全国平均と比較し、国語、数学ともに非常によい結果となっている。特に数学については、ほとんどの問題において10%以上平均を上回っており、生徒の学力向上が見られる。課題としては、全国平均が50%に満たない問題については本校の結果も同様に低くなっている。今後、指導法について研修等で検討し、改善を図ってきたい。
思考・判断・表現	R6全国学力・学習状況調査において、全国平均と比較し、国語、数学ともに非常によい結果となっている。一方で、「思考・判断・表現」の問題については、無回答率が10%以上となっている問題が散見される。特に、様々な事象について説明する問題にこの傾向が強く、本校の課題である「人に伝える」活動について、継続して行っていく必要がある。

③	中間期報告		中間期見直し
	評価(※)	授業改善策の達成状況	授業改善策【評価方法】
知識・技能	B	「スタディサプリ」や「ドリルパーク」等に取り組むなど、基礎基本の充実を図るとともに、個別最適な学びについての取組を行っている。学習履歴の活用については今後さらに研究を深めていきたい。	変更なし
思考・判断・表現	B	言語能力育成に係る人へ伝える活動について、これまでと同様、継続して多くの授業で取り入れることができている。不得手な生徒への対応についても、徐々にではあるが改善が進みつつある。	変更なし

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

⑤	評価(※)	授業改善策の達成状況
知識・技能		
思考・判断・表現		

⑥	次年度への課題と授業改善策
知識・技能	
思考・判断・表現	

※評価  
 A 8割以上(達成)    B 6割以上(概ね達成)    C 6割未満(あと一步)